

## 平成25年度 三条市生活部 活動報告

部長 中瀧 志保子

### 1 研究主題

主体的に活動し、気付きの質を深める子どもの育成  
～授業力向上のための実技研修を通して～

### 2 研究主題設定の意図

学習指導要領解説「生活編」には、生活の改善の基本方針の第2として「気付きの質を高め、活動や体験を一層充実するための学習活動を重視する。また、科学的な見方・考え方の基礎を養う観点から、自然の不思議さやおもしろさを実感する活動を取り入れる。」と示されている。気付きの質を高めるためには、子どもたちの自発的・主体的な対象とのかかわりが必要である。気付きの質を高め深めるためには、子どもたちにとって、魅力ある授業でなければならない。そのためには、質の高い教材研究は不可欠である。本年度は、一人一人の教材研究の助けとなるような実技研修を実施することとした。

### 3 事業の実際

○5月14日（火） 本年度の計画作成

○6月21日（金） 第1回研修会

「野菜の育て方」

講師 三条市農業交流体験センター

サンファーム 指導員 木村 六郎 様

会場 裏館小学校

野菜の育て方について話を聞いた。2年生が実際に育てている野菜を用いて、うまく育たない野菜について、原因と対処の仕方について指導を受けた。どの子にも確かな実りを実感させるためにも有意義な内容であった。



○9月25日（水） 第2回研修会

「伝達講習会」

「平成25年度 新潟県教育課程研究集会」の伝達講習を実施した。資料をもとに、具体的に当日の指導内容等を伝達した。

「秋の実りをいかしたおもちゃづくり」

講師 三条市理科センター 本間 奈奈 様

会場 裏館小学校

秋の実のドングリや松ぼっくりとペットボトルや紙コップなどの身近にある材料を使って、おもちゃ作りの実習を行った。

豊富な材料を使って、工夫が加えられ、遊び方の工夫もできるおもちゃの作り方を、たくさん紹介してもらった。ペットボトルカッターなどの使いやすい道具の紹介もあり、すぐに授業に生かせる研修であった。



### 4 まとめ

野菜栽培の指導で困っていることの解決の糸口を得たり、身近な材料や道具を使って学習を進めることができたりして、2回とも参加者の授業の質の向上にすぐに繋がる有意義な研修であった。